

社内木鶏クラブ

あなたの会社でも始めてみませんか

『致知』を活用しながら学びの場を共有し、組織の活性化や人間的成長を目指している会社・組織が全国で増えています。「社員がともに『致知』を学ぶ」ことで、社内がまとまり会社が成長してきた」と多くの経営者が語っています。「このような『社内木鶏クラブ』に熱心に取り組んでいる会社・組織を、シリーズで」紹介していきます。

- 「社内木鶏クラブ」3つのメリット
- 1 社長の考えが理解できる
 - 2 社風が良くなる
 - 3 真の人間教育ができる



「まちづくり」は
「我づくり」から

都城市役所

業種 市役所
 代表者 市長 長峯 誠
 創業年 平成18年1月1日
 旧1市4町（旧都城市・旧山之口町・高城町・山田町・高崎町）が新設合併
 職員数 1,676名（平成19年4月1日現在）
 住所 宮崎県都城市姫城町6-21
 TEL 0986-23-2111（代表） FAX 0986-25-7973
 ホームページ <http://www.city.miyakonojo.miyazaki.jp/>
 Eメール info@city.miyakonojo.miyazaki.jp

●市長の思い——社内木鶏クラブを始めたきっかけ「まちづくり」は「人づくり」、「人づくり」は「我づくり」です。

都城をすばらしい地域にするためには、市政に携わる人が輝いていなければなりません。地域の宝に磨きをかけ、夢に向かって進んでゆく「地宝向夢員」の育成を目指して始めました。

●開催状況

●四月から翌年三月までの年度ごとの開催。毎月一回、土曜日（休日）の朝八時から九時まで実施しています。

●市長室の座席の都合上、第三土曜日と第四土曜日の二グループに分け、各グループ九名ずつの計十八名が参加（希望者・推薦者）しています。

参加者の部署は、総務課、経営戦略課、健康福祉課、消防局など様々です。

●各自自分で定期購読している『致知』を熟読して特に感動した五つのフレーズを選択し、各々について三百字程度の感想文を用意します。事前に文章化することで自分の思考を深めることができます。

●勉強会当日は市長が進行役を務め、一人五分間ずつ感想を発表します（機会の平等を

確保するため、タイマーを使用しています。残りの時間は、他の人の発表を聞いている意見を自由に述べ合います。

●継続させる秘訣

●スタート時に「私の七か条」という目標信条を作成し、一年かけて感想を書くことにブラッシュアップしていきます。

●自主性を重んじて最小限のルールのみ決め、グループ間の交流などの活発な活動を推進しています。



●職員の感想

●日々の生活で忘れかけていた私の本心を、『致知』の言葉やメンバーの珠玉の言葉に後押ししていただき、再認識することができました。いま私は、湧き上がる情熱で血流量度が二、三度上がったような感じがしています。

（有馬政彦さん・三十二歳）

●物事を簡単に諦めるのをやめ、利他の心で人に接しようと思えました。また感想発表の中で、職員が皆それぞれに自分を高める努力をしていることを知りました。

（高木美和さん・二十三歳）

●「私たちは地域や社会のパイプライン」であるということとを認識し、質の良いパイプラインとなるために日々鍛錬しなければと改めて強く思うようになりました。『致知』

れます。また市長の思いを身近に感じられ、公僕としての基礎を改めて学びました。

（畝原智子さん・三十四歳）

●人様への感謝の気持ちが強まったのは『致知』を読み始めてからだと思います。困難に遭遇しても、成長のための経験だと思えるようになり、自己向上の努力をするようにもなりました。話し合える仲間がいることを嬉しく思い、修業中の私は今後も読み続けようと思えます。

（黒木千晶さん・四十五歳）

●勉強会を通じ、小さなことも目標を設定し取り組むことで、時間を有効に活用する術が身に付いたように思います。毎朝一番に出勤して清掃を行い、その日の業務内容を再確認してから仕事に取り掛かる。充実した一日を過ごせるようになりました。

（天神康補さん・二十九歳）

・社内木鶏クラブを始めたいとお考えの方は、致知出版社までお問い合わせください。
 ・弊社ホームページにて動画で社内木鶏クラブの様子をご覧ください。
 ・アンケートハガキを送付された方全員に、好評小冊子「社内木鶏クラブの作り方」を進呈します。

